

福井火力発電所三国 1号機の出力抑制について

平成26年4月14日
北陸電力株式会社

当社は、4月11日、福井火力発電所三国 1号機（定格出力25万kW）の煙突より降下したとみられる小さな固形物（最大5cm角、厚さ5mm程度）を、煙突周辺で発見しました。

現在、出力抑制運転により煙突からの固形物の降下は確認されていませんが、念のため、準備が整い次第、運転を停止し煙突内の点検をすることとしました。点検・補修の開始時期は4月下旬、期間は20日間程度と考えております。

また、12日には第6給水加熱器^(※)内部の不具合を確認しました。

現在、当該給水加熱器を停止するとともに、安定運転確保のため、出力上限を15万kWに抑制して運転しております。

点検・補修については、煙突内の点検時期にあわせて実施する予定です。

出力抑制運転中及び運転停止後の電力需給バランスについては、一定の予備力を確保できる見込みであり、電力の供給に支障はないと考えておりますが、需給状況を踏まえながら、卸電力取引所の活用などにより供給力の確保に努めてまいります。

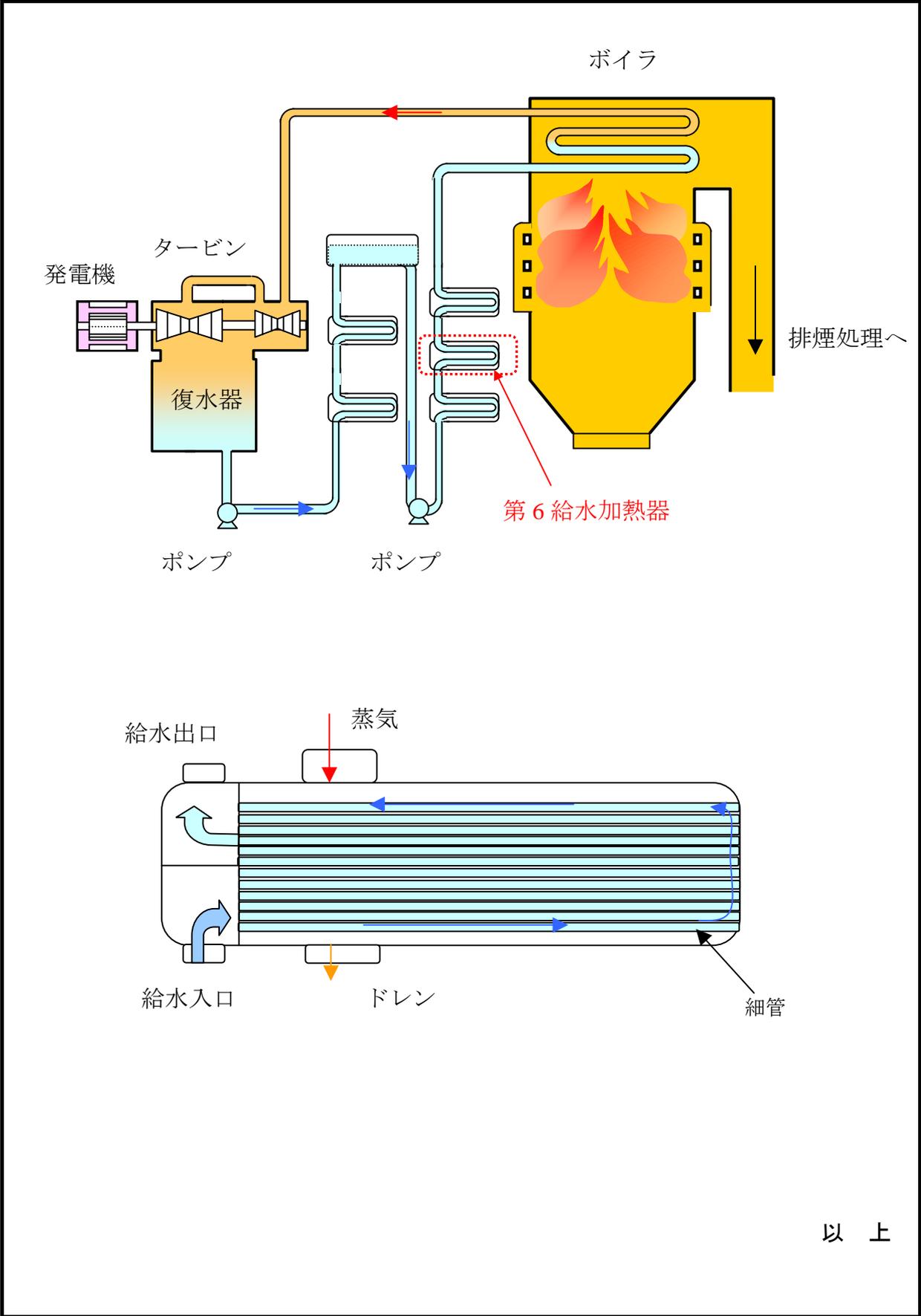
今後の詳細な需給状況については、でんき予報などでお知らせしてまいります。

(※) 給水加熱器：ボイラー給水の温度を上げるため、蒸気と熱交換させる装置

以 上

別 紙：給水加熱器 概要

【給水加熱器 概要】



以上